年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（３学年用） 教科　家庭　科目 保育基礎

教　科：家庭　科　目：保育基礎　単位数：2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　F　組

使用教科書：（ 家庭707　保育基礎 ）

教科　家庭　の目標：

【知　識　及　び　技　能】・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ，家族・家庭，衣食住，消費や環境など，生活を

【思考力、判断力、表現力等】・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定，解決策を構想・実践，考察する

【学びに向かう力、人間性等】・さまざまな人々と協働し，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創

科目　保育基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　子どもの保育 ・保育の意義と重要性について理解する ・保育者にはどのような資質が求められるか，保育者観についての考察を深める。 ・家庭での保育の現状や，幼児教育・保育の場の保育環境の特徴や役割を理解する。 ・子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解	１節　保育の意義 ２節　保育の方法 ３節　保育の環境	・保育者の役割を理解し，その資質や能力を身につけるにはどのような点に気をつけていけばよいかなど，考察ができる。 ・発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。 ・子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し，発達段階における発達課題に応じて，接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について述べている。	○	○	○	8
	第２章　子どもの発達 ・乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり，特性があることを理解する。 ・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ、発達の過程を理解する。 ・心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び。 ・知的発達，言葉の発達，社会性・情緒など様々な側面から，子どもの心の発達をとらえる。	１節　子どもの発達の特性 ２節　子どものからだの発達 ３節　子どもの心の発達	・胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高めている。乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている。 ・誕生から幼児期までの子どもの身体発育，運動機能，認知機能などそれぞれの発達の特性について理解している。 ・子どもの心の発達の特徴と発達の経過について理解している。 ・人間関係の発達については乳児期の愛着の発達が重要であり，安全基地を土台として人間関係が広がっていくことを理解している。	○	○	○	10
	第４章　子どもの文化 ・絵本や遊び，歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が，子どもの健やかな発達とどのような関わりを持つか，その意義について理解する。 ・子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性などを，具体的に遊具等を作るなどの活動を通じて理解する。 ・遊びにおける保育者からの働きか	１節　子どもの文化の意義と支える場 ２節　子どもの遊びと表現活動	・子どもの文化の意義を理解し，それらの役割や今後の課題について考察することができる。 ・遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解している。 ・子どもの発達や特性をふまえた上で，子どもの遊具等の作成に取り組み，子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけている。	○	○	○	10
	授業内考査			○	○		1
2学期	第３章　子どもの生活 ・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 ・乳幼児期の栄養や食事の特徴を実習を理解する。 ・子どもの衣生活と育児用品について，身体特徴をふまえ，安全で快適に生活するために何が必要か選択できる。 ・基本的生活習慣と社会的生活習慣の意義と重要性を理解する。 ・子どもの健康管理や事故防止について，健康状態の観察のポイントや予防接種，事故の実態や原因などを理解する。 ・子どもの事故防止や安全な環境整	１節　子どもの生活と養護 ２節　生活習慣の形成 ３節　健康管理と事故防止	子どもの生活に関心を持ち，主体的に子どもの生活を理解しようとしている。 ・子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている。 ・子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を深めている。 ・子どもの健康状態を見るときのポイントや病気の特徴，予防接種について理解している。 ・子どもにおこりやすい事故を予測し，その対策を考えることができる。	○	○	○	26
	授業内考査			○	○		1
3学期	第５章　子どもの福祉 ・子ども観は国や地域，時代によって変化していることを理解する。 ・時代の変化と共に子どもが権利の主体として尊重する考え方を理解する。 ・子どもの福祉に関心を持ち，児童福祉の理念や法律と制度について理解する。 ・児童憲章や児童の権利に関する条約を通して児童福祉の基本的な考え方を理解し，子どもの幸せとは何か	１節　子ども観 ２節　子どもの福祉 ３節　子育て支援	・子ども観の変遷や，権利の主体として尊重されつつある状況を理解している。 ・児童福祉の基本的な考え方について理解し，子どもの幸福について自分の意見や考えをまとめることができる。 ・児童虐待の現状と対策について自分の考えを述べている。 ・子育ての現状をふまえて，これからの子育て支援を考えている。	○	○	○	14
							合計 70